

応仁の乱と室町文化

1 応仁の乱と戦国大名の登場

(1) **土一揆**…室町時代、農民が自治を行い、団結を強める中で**徳政令**を出すことを幕府に求めて、土倉や酒屋、寺院を襲って抵抗。

正長の土一揆…1428年に近江国（滋賀県）の馬借がおこした最初の土一揆。近畿地方周辺に広がった。→各地で一揆がおこり、幕府はたびたび徳政令を出すようになる。

●**一揆**…目的を達成するために、神仏に誓って団結して支配者に抵抗すること。民衆がおこす一揆を土一揆という。

年代	できごと
1397年	足利義満が金閣をつくる。
1428年	正長の土一揆がおこる。
1467年	応仁の乱がおこる。
1485年	山城の国一揆がおこる。
1488年	加賀の一向一揆がおこる。
1489年	足利義政が銀閣をつくる。

◆正長の土一揆の碑文

正長元年ヨリサキ者
 (前) 正長元年ヨリサキ者
 (神戶) 四か郷
 カンヘ四カンカウニ
 (負) 負い目 (ズ) ヲキメアルヘカラス
 (「負い目」は借金の意味である。)

(2) 応仁の乱

- 6代將軍足利義教の暗殺→守護大名間の勢力争いがおこる。
- 8代將軍**足利義政**のとき、あとつぎ問題で、有力な守護大名の**細川氏**と**山名氏**が対立する。
- 応仁の乱**…1467（応仁元）年に、10年余りにわたる戦乱が始まる。
 - 東軍（細川方）、西軍（山名方）に分かれて、京都から全国に広がる。→地方の武士・民衆が力をのばす。下剋上の風潮。
 - 下剋上**…実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つ風潮。

◆応仁の乱開始時の対立関係

	西軍(山名方)	東軍(細川方)
將軍のあとつぎ問題	日野富子 足利義政 (養子) 義尚	義視
守護大名の対立	山名持豊(宗全) (侍所の元長官)	細川勝元 (管領)

(3) 各地でおこる一揆

- 山城の国一揆**…山城（京都府南部）で、武士と農民が守護大名を追いはいら8年間自治を行う。
- 一向一揆**…浄土真宗（一向宗）の信仰で結び付いた武士や農民が各地で一揆をおこす。加賀（石川県）では、守護大名をたおし、約100年間自治を行う。

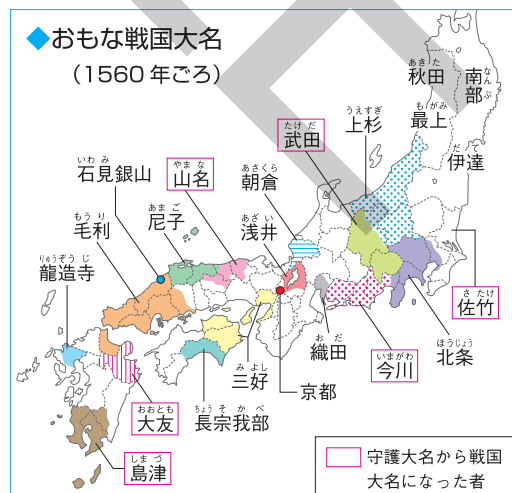
(4) 戦国大名の登場

- 応仁の乱後、幕府の力は弱まる。天皇や貴族、寺社の領地は各地の武士にうばわれる。
- 戦国大名**…守護大名の地位をうばって実権をにぎった者や、成長した守護大名が各地に登場。領内を独自に支配し、戦国大名と呼ばれる。大規模な用水路の建設による農業の推進。鉱山の開発。交通路の整備。→応仁の乱以降、戦国大名が戦いを続けた約100年間を**戦国時代**という。
- 城下町**…防備の固い城の周辺に家来を集め、商工業者を呼び寄せてつくった町。軍事・経済の中心。
- 分国法**…戦国大名が領国を統一して支配するために定めた独自の法。下剋上を防ぐため、武士や民衆の行動を取りしめる。莊園領主の支配を認めない。

●分国法の例（部分要約）

- 朝倉氏**
 一 本拠である朝倉館のほか、国内に城を構えてはならない。すべての有力な家臣は、一乗谷に引っ越し、村には代官を置くようにしなさい。
 (朝倉孝景条々)
- 武田氏**
 一 けんかをした者は、いかなる理由による者でも処罰する。
 一 許可を得ないで他国へおくり物や手紙を送ることは一切禁止する。
 (甲州法度之次第)

◆おもな戦国大名 (1560年ごろ)



2 室町文化

(1) 室町文化の特色

将軍や守護大名が京都にいたことから、公家の文化と武家の文化がとけ合った文化が生まれる。

(2) 北山文化

① 金閣…足利義満が京都の北山につくる。寝殿造と武家風のつくりが合わさった建築。義満のころの文化を北山文化という。

② 能(能楽)…民衆の間で行われていた猿楽や田楽をもとに生まれた芸能。義満の保護を受け、観阿弥と世阿弥によって大成される。

③ 狂言…能の合間に演じられるこっけいな劇。民衆の生活のようすを伝える。

④ 連歌…和歌の上の句と下の句を別の人がよみつないでいく。連歌師によって広められ、武士や民衆の間ではやる。

⑤ 応仁の乱などののち、戦国大名にまねかれて地方へ下った公家たちが、京都の文化を地方に広める役割を果たす。

(3) 禅宗と東山文化

① 室町幕府は禅宗を保護し、京都には禅宗の寺が建てられる。禅僧が中国や朝鮮に派遣され、禅宗は、政治や文化に影響を与える。

② 銀閣…足利義政が京都の東山につくる。禅宗の建築様式を取り入れた書院造が生まれる。義政のころの文化を東山文化という。

●書院造…床の間を設け、畳敷きで、障子やふすまがある、現代の和室にも取り入れられている様式。床の間に飾られた立花が、生け花につながる。

③ 銀閣の庭園など、庭園づくりには、河原者とよばれる、生活のうえで差別を受ける立場であった人々が活躍する。

④ 水墨画…禅僧が中国から伝えた、墨一色で自然を描く絵画。雪舟が日本風に完成させる。

⑤ 茶を飲む習慣が、茶の湯として流行する。

(4) 民衆と文化…民衆が経済的に成長し、文化が民衆にも広がる。

① 鎌倉時代におこった新しい仏教である浄土真宗は、蓮如の布教で北陸地方に信者を増やす。

② 日蓮宗は、京都や堺の町衆の間に広まる。

③ 節分や七夕などの行事や、盆踊りなどが行われるようになる。

④ お伽草子…絵と物語を組み合わせたもので、「浦島太郎」や「ものぐさ太郎」などがある。民衆に楽しまれた。

⑤ 足利学校(栃木県)…守護大名の上杉氏が保護。日本国内から人材が集まり、儒学を学ぶ。→さまざまな情報を交換。→知識を各地に伝える。

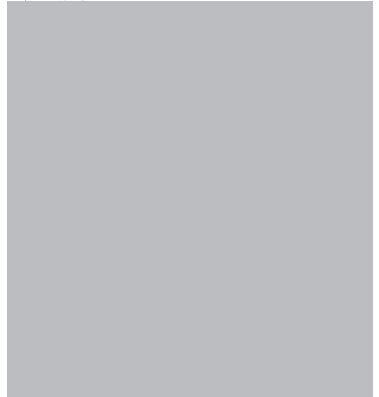
◆現代の能



◆金閣



◆銀閣



◆東求堂同仁斎の書院造



◆龍安寺の石庭



◆雪舟の水墨画



(「秋冬山水図」)

要点の整理

学習日 月 日

1 年表 [] にあてはまる語句を答えなさい。

年代	できごと
1397年	足利義満が京都の北山に□(1)[]を建てる。
1467年	細川氏と山名氏が対立し、以後10年余りにわたる□(2)[]が始まる。
1485年	山城の□(3)[]がおこる。
1488年	加賀の□(4)[]がおこる。
1489年	足利義政が京都の東山に□(5)[]を建てる。

2 争乱 [] にあてはまる語句を答えなさい。

年代	争乱の名称	内容・関連事項
1467年	□(1) []	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8代将軍□(2)[]のあとつぎをめぐって京都でおこる。 ・ 守護大名の対立。 ・ 西軍□(3)[]氏と東軍□(4)[]氏が対立。 ・ 戦乱は全国に広まり、身分が下の者が実力で上の身分の者に打ち勝つ□(5)[]の風潮が広まる。 ・ 各地に守護大名の地位をうばって実権をにぎった□(6)[]が登場する。
1485年	山城の国一揆	武士と農民らが□(7)[]を追いはらい、自治を行う。
1488年	□(8) [] (石川県)の一向一揆	□(9)[]の信者らが守護大名をたおす。約100年間自治を行う。

3 戦国大名 [] にあてはまる語句を答えなさい。

できごと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの住まいとして防備の固い□(1)[]を築いた。 ・ (1)の周辺に家来や商工業者を集め□(2)[]をつくった。 ・ 大規模な□(3)[]を建設して農業を盛んにした。 ・ 独自の□(4)[]を定めて武士や民衆の行動を取りしまった。
<p>右の地図A □(5)[]氏の例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> — 本拠である館のほか、国内に城を構えてはならない。すべての有力な家臣は、一乗谷に引越し、村には代官を置くようにしなさい。 </div>
<p>右の地図B □(6)[]氏の例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> — けんかをした者は、いかなる理由による者でも処罰する。 — 許可を得ないで他国へおくり物や手紙を送ることは一切禁止する。 </div>


4 北山文化と東山文化 [] にあてはまる語句を答えなさい。

	北山文化	東山文化
将軍	□(1)[]	□(2)[]
建物	□(3) []	□(4) []
特色	公家の文化と武家の文化の融合。	□(5) [] の影響を受けた文化。

5 仏教の進展 [] にあてはまる語句を答えなさい。

宗派	進展
□(1)[]	北陸や近畿地方の武士や農民の間に広まる。
□(2)[]	京都や堺の商工業者に広まる。
禅宗	京都と鎌倉の五山と呼ばれる主要寺院を中心に□(3)[]の保護を受ける。僧が文芸や外交、貿易に活躍する。

6 室町時代の文化 [] にあてはまる語句を答えなさい。

資料				
名称	能	水墨画	東求堂同仁斎	龍安寺の石庭
関連人物	□(1) [] []	□(2) []	□(3) []	□(4) [] と呼ばれた人々
解説	猿楽・田楽が能に発展した。	墨一色で自然などを表現した。	□(5) [] …床の間が設けられる。	石や木をたくみに配置した庭園。

- (1) 室町幕府 8 代将軍はだれか。
- (2) 1467年に将軍のあとつぎ問題をめぐって京都でおこり、10年余りにわたって続いた戦乱を何というか。
- (3) 1485年、現在の京都府南部でおこった、武士と農民とが一体となり、守護大名を追いはらって自治を行った一揆を何というか。
- (4) 1488年、北陸地方で浄土真宗（一向宗）の信者らが守護大名をたおして、100年近く自治を行った一揆を何というか。
- (5) (2)の戦乱のころから広まった、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ風潮を何というか。
- (6) 守護大名の地位をうばって実権をにぎったり、守護大名が成長したりして登場するようになった大名を何というか。
- (7) (6)が自分の城の周辺に家来や商工業者を集めて形成された町を何というか。
- (8) (6)が自分の領国で、武士や民衆の行動を取りしめるために独自に定めた法を何というか。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____
- (7) _____
- (8) _____
- (9) _____
- (10) _____
- (11) _____
- (12) _____
- (13) _____
- (14) _____
- (15) _____
- (16) _____
- (17) _____
- (18) _____
- (19) _____
- (20) _____

- (9) 鎌倉時代に栄西が宋からもたらした茶を飲む習慣をもとに室町時代に流行した、茶を楽しむことを何というか。
- (10) 和歌の上の句と下の句を別の人が次々によみ続けていくものを何というか。
- (11) 観阿弥・世阿弥親子が、田楽や猿楽をもとに完成させた芸能を何というか。
- (12) 足利義満が、京都の別荘に建てた 3 層の建物を何というか。
- (13) 足利義満が(12)を建てたころの文化を何というか。
- (14) 禅宗寺院の部屋の様式を住居に取り入れ、床の間などが設けられた、現代の和風建築のもとになった建築様式を何というか。
- (15) 雪舟によって大成された、墨一色で自然などを表現する絵画を何というか。
- (16) 龍安寺の石庭など、石や木をたくみに配置した庭園をつくることに力を発揮した人たちを何というか。
- (17) 室町幕府 8 代将軍であった人物が、京都の別荘に建てた 2 層の建物を何というか。
- (18) 室町幕府 8 代将軍であった人物が(17)を建てたころの文化を何というか。
- (19) (11)の合間に演じられ、民衆の生活や感情をよく表した芸能を何というか。
- (20) 室町時代に盛んに読まれた、「浦島太郎」などの絵入りの物語を何というか。

標準問題

学習日 月 日

1 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 下線④についてこれを何というか、答えなさい。

[]

- (2) 下線⑤について、東軍と西軍の有力な守護大名はそれぞれ何氏か、答えなさい。

東軍[] 西軍[]

- (3) 応仁の乱のころから成長して実力をつけた大名が、城の周辺に家来や商工業者を呼び寄せてつくった町を何というか、答えなさい。

[]

- (4) (㊸)・(㊹)にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

㊸[] ㊹[]

年代	できごと
1428年	㊸近江国で最初の土一揆がおこる。
1467年	㊹応仁の乱がおこる。
1485年	山城の(㊸)がおこる。
1488年	加賀で(㊹)がおこる。

2 室町時代の文化について、次の問いに答えなさい。

- (1) 室町時代前半の文化について述べた次の文章中の(A)～(C)にあてはまる語句を答えなさい。

足利義満が京都の別荘に建てた(A)には、(B)の文化と武家の文化の融合という、室町文化の特色がよく表されている。この時期の文化を特に(C)という。

A[] B[] C[]

- (2) 室町時代後半の文化について述べた次の文章中の(A)～(C)にあてはまる語句を答えなさい。

足利義政が京都の別荘に(A)を建てたころには、(B)の影響を受けた文化が発展した。この時期の文化を特に(C)という。

A[] B[] C[]

- (3) (2)のころの文化について、次の問いに答えなさい。

- ① 右の資料1は(2)のAと同じ敷地内にある建物の一部である。この部屋に用い、資料2

られている建築様式を何というか、答えなさい。

[] 資料1

- ② 右の資料2の絵画は、ある人物が中国でその技法を学び、帰国後に完成させた画法でえがいたものである。この人物の名と、この画法による絵画の総称を答えなさい。

人物[]

絵画[]



3 記述トレーニング 次の問いに文で答えなさい。

- (1) 応仁の乱の結果について、この乱以降に成長した大名や社会の風潮とからめて説明しなさい。

- (2) 戦国大名が独自に分国法を定めた理由を、「領国」の語句を用いて、説明しなさい。

- (3) 15世紀の後半以降、民衆に広く文化が広まったのはなぜか、説明しなさい。

1 世界との出会い

1 ヨーロッパ世界とイスラム世界

(1) キリスト教とイスラム教

① キリスト教…ローマ教皇を首長とするカトリック

教会が、西ヨーロッパ諸国の王や貴族たちと結び勢力を伸ばし、政治や暮らしに大きな影響力をもつ。ビザンツ帝国と結びついたギリシャ正教会も成立。

② イスラム教…中央アジアからイベリア半島まで勢力を伸ばす。『コーラン』を基にしたイスラム法を整え、高度な文化が発達。アラビア数字、中国から伝わった羅針盤・火薬、製紙や印刷技術の改良。

(2) 十字軍の派遣

① キリスト教は聖地エルサレムの巡礼を重んじるが、11世紀の末、イスラム勢力が支配下に入れる。

② 十字軍…聖地奪還のため、ローマ教皇が派遣をよびかける。以後、キリスト教とイスラム教が対立。

年代	できごと
1096年	十字軍の派遣が始まる。
14世紀ごろ	ルネサンスが始まる。
1453年	オスマン帝国がビザンツ帝国をほろぼす。
1492年	コロンブスがアメリカ大陸付近の島に到達。
1498年	バスコ=ダ=ガマがインドに到達。
1517年	ルターの宗教改革が始まる。
1522年	マゼランの船隊が世界一周を達成する。
1526年	ムガル帝国がおこる。
1541年	カルバンの宗教改革が始まる。
1543年	コペルニクスが地動説を発表する。 日本に初めて鉄砲が伝わる。(1542年の説もある)
1549年	日本に初めてキリスト教が伝わる。

◆ボッティチェリの「春」



2 ルネサンスと宗教改革

(1) 新しい文化

① ルネサンス(文芸復興)…古代ギリシャやローマの文化を模範として復興させようとする動き。イタリアからヨーロッパ各地に広まり、人間らしい個性や自由が求められた。

② レオナルド=ダ=ビンチやミケランジェロらによって多くの絵画や彫刻がつくられる。また、教会が支持する天動説に対し、コペルニクスやガリレイらが地動説を唱える。

(2) 宗教改革

① 16世紀初め、ローマ教皇は資金集めのために免罪符の販売を認める。こういった教会の腐敗を正そうとする宗教家によって、宗教改革が始まる。

② ドイツのルターは、聖書に基づく信仰の大切さを説き、ドイツや北ヨーロッパの人々の支持を得る。

③ スイスではカルバンが、人は職業にはげむべきであると主張し、勤労によって得る富を認めた。ヨーロッパの商工業者の支持を得る。

④ プロテスタント…宗教改革の考えを支持した人々は、プロテスタント(抗議する者)とよばれる。

(3) イスラム世界の発展

① イスラム教の勢力が地中海の東から東南アジアにかけて拡大し、国家を形成する。13世紀の末にはトルコの地域でオスマン帝国が、16世紀の初めには北インドでムガル帝国がおこる。

② オスマン帝国は、15世紀の中ごろにビザンツ帝国をほろぼすと、ハンガリーから北アフリカに領土を拡大した。

③ イスラム商人は、インド洋を中心に活躍し、東アジアと西アジア、ヨーロッパをつないだ。

3 ヨーロッパ人の大航海時代

(1) ヨーロッパ人の新航路開拓

- ① アジアの特産物である香辛料は、ヨーロッパでは高価で貴重なものであった。これをイスラム商人を通さずに手に入れようとする動きが起こる。
- ② スペインとポルトガルが、キリスト教布教の目的もあり、新航路の開拓にのりだす。

・**コロンブス**…スペインの援助を受けて

大西洋を西に進み、アメリカ大陸付近の島(西インド諸島)に到達する。

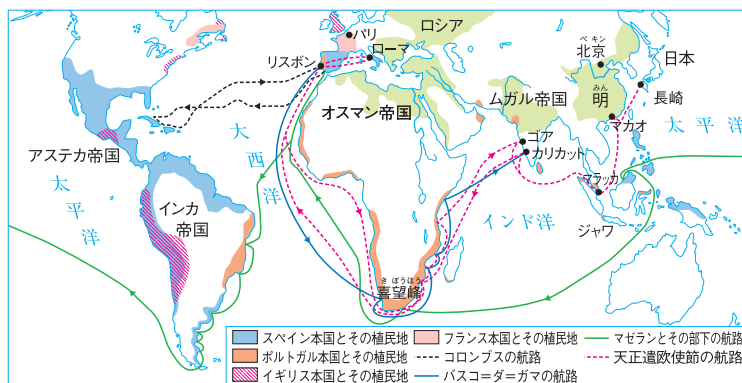
・**バスコ=ダ=ガマ**…ポルトガル人。アフリカ大陸の南端を回ってインドに到達する。

・**マゼラン**…スペインが派遣。西に向かう航路で、率いていた船隊が世界一周に成功する。

(2) ヨーロッパ諸国の世界進出

- ① ポルトガルは、インドのゴアや東南アジアのマラッカに拠点をおいてアジア貿易を行う。
- ② スペインは、南北アメリカ大陸に進出してアステカ帝国やインカ帝国を征服し、金・銀の採掘を進める。また、先住民やアフリカから連れてきた黒人を鉱山や農園で奴隷として働かせる。
- ③ ポルトガルとスペインは世界各地に**植民地**を築く。また、両国の支援により、カトリック系の**イエズス会**はアジアや中南アメリカで活発に布教活動を行うようになる。
- ④ 17世紀、プロテスタント系国家のオランダがスペインから独立し、アジアに進出する。オランダの商人は**東インド会社**をつくって、インドネシアのジャワに拠点をおき、東アジアでの貿易を行う。

◆16世紀ごろの世界



4 南蛮人の来日

(1) 鉄砲の伝来

- ① 16世紀前半、ポルトガルは、東アジアの国々を結ぶ交易路を利用して貿易を行う。
- ② 1543年、**種子島**(鹿児島県)に漂着した**ポルトガル人**によって日本に**鉄砲**が伝わる。鉄砲は、やがて堺(大阪府)や国友(滋賀県)で大量生産され、足軽の鉄砲隊が活躍するようになる。

(2) キリスト教の伝来

- ① 1549年、イエズス会の宣教師**フランシスコ=ザビエル**が鹿児島に来て、キリスト教を伝える。その後、山口、府内(大分県)、京都などで布教する。
- ② キリスト教の信者(**キリシタン**)は急に増え、信者になる大名(**キリシタン大名**)も現れる。大村氏のイエズス会への寄進によって、長崎が布教や貿易の拠点になる。この大村氏と大友氏・有馬氏は4人の少年使節をローマ教皇のもとへ派遣した(**天正遣欧使節**)。

- ③ **南蛮貿易**…ポルトガルやスペインが、長崎や平戸(長崎県)などの港に来航し、貿易が始まる。当時の日本はポルトガル人やスペイン人を南蛮人とよんだことから、彼らとの貿易を**南蛮貿易**という。鉄砲、火薬、ガラス製品、中国の生糸や絹織物などが日本にもたらされ、日本からは銀などが輸出された。

◆フランシスコ=ザビエル

◆鉄砲鍛冶

要点の整理

学習日 月 日

1 年表 []にあてはまる語句を答えなさい。

年代	できごと
1096年	聖地エルサレム奪還のため、ローマ教皇のよびかけで、□(1)[]が派遣される。
14世紀ごろ	古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする□(2)[](文芸復興)がおこる。
1453年	トルコの地域におこった□(3)[]がビザンツ帝国をほろぼす。
1492年	□(4)[]がアメリカ大陸付近の島に到達する。
1498年	□(5)[]がインドに到達する。
1517年	ドイツのルターが□(6)[]を始める。
1522年	□(7)[]の率いていた船隊が世界一周を達成する。
1526年	北インドにイスラム教徒が支配する□(8)[]がおこる。
1543年	日本に□(9)[]が伝わる。
1549年	日本に□(10)[]が伝わる。

2 キリスト教とイスラム教 []にあてはまる語句を答えなさい。

キリスト教	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ教皇を首長とする□(1)[]教会が、西ヨーロッパ諸国で勢力を伸ばす。 ・聖地エルサレムの奪還のため、ローマ教皇が□(2)[]の派遣をよびかける。
イスラム教	<ul style="list-style-type: none"> ・『□(3)[]』を基礎にしたイスラム法が整えられ、中央アジアからイベリア半島まで勢力を伸ばす。

3 ルネサンスと宗教改革 []にあてはまる語句を答えなさい。

	内容
ルネサンス	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアでおこり、人間らしい個性や自由を求める文化が広まる。 ・「モナ＝リザ」を代表作とする□(1)[]や「ダビデ」を代表作とする□(2)[]など多くの芸術家が活躍する。
宗教改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの□(3)[]は、教皇や教会を批判し、聖書に基づく信仰の大切さを説く。 ・スイスでは□(4)[]が、人は神の救いを信じて職業にはげむべきであると説く。 ・改革を支持する者は、カトリック教会から離れ、□(5)[](抗議する者)とよばれるようになる。

4 ヨーロッパ人の大航海時代 []にあてはまる語句を答えなさい。

□(1)[]の航路 □(2)[]の航路 □(3)[]一行の航路

□(4)[]本国とその植民地 □(5)[]本国とその植民地

5 南蛮人の来日 []にあてはまる語句を答えなさい。

鉄砲の伝来	<ul style="list-style-type: none"> □(1)[](鹿児島県)に漂着した□(2)[]人によって伝えられる。 堺(大阪府)や国友(滋賀県)などで大量生産されるようになる。 鉄砲が広まると、□(3)[]による鉄砲隊が活躍するようになる。
キリスト教の伝来	<ul style="list-style-type: none"> イエズス会の宣教師□(4)[]が、日本の各地で布教を始める。 □(5)[]がしだいに増えていく。 大友・大村・有馬の3氏が、ローマ教皇のもとに□(6)[](4人の少年使節)を派遣する。

6 重要資料 []にあてはまる語句を答えなさい。

資料		
内容	<ul style="list-style-type: none"> 14世紀ごろ、□(1)[]で、人間の個性や自由を表現しようとする□(2)[](文芸復興)とよばれる新しい文化がおこった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本にやってきた□(3)[]人やスペイン人は□(4)[]とよばれたことから、彼らとの貿易は□(5)[]という。

ヨーロッパ世界とイスラム世界

- (1) 中世ヨーロッパで、大きな影響力をもつようになったカトリック教会の首長を何というか。
- (2) 9世紀ごろまでに整えられたイスラム法の基になったイスラム教の聖典を何というか。
- (3) ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の聖地である都市を何というか。
- (4) (1)のよびかけで、(3)の聖地をうばいかえすために東地中海沿岸に派遣された軍を何というか。
- (5) 14世紀ごろに始まった、古代ギリシャやローマの文化を模範として復興させようとする動きを何というか。
- (6) コペルニクスやガリレイが、教会の支持する天動説に対して唱えた説を何というか。
- (7) (1)やカトリック教会を批判して始まった、キリスト教の改革を何というか。
- (8) ドイツで聖書に基づく信仰を唱えて(7)を行った人物はだれか。

ルネサンスと宗教改革

- (9) (7)の考えを支持したキリスト教徒を何というか。
- (10) 13世紀の末にトルコの地域でおこり、のちにビザンツ帝国をほろぼして広大な領土を築いた国を何というか。

ヨーロッパ人の大航海時代

- (11) 1492年、ヨーロッパから大西洋を横断して、アメリカ大陸付近の島に到達したのはだれか。
- (12) 1498年、アフリカ南端を回ってインドに到達したのはだれか。
- (13) 1522年、大西洋を西に向かって進む航路で初めて世界一周をしたのは、だれが率いた船隊か。
- (14) インドのゴアやマレー半島のマラッカに拠点をおいて貿易を行い、利益をあげた国はどこか。
- (15) (14)やスペインが世界各地で築いて支配した、自国の領土以外で開発を行う地域を何というか。
- (16) カトリック教会の勢力の立て直しを目ざし、アジアや中南アメリカで活発に布教活動を行った組織を何というか。

南蛮人の来日

- (17) 1543年、種子島（鹿児島県）に漂着した中国の船に乗っていたポルトガル人によって日本に伝えられたものは何か。
- (18) 1549年に鹿児島に来てキリスト教を伝えた宣教師はだれか。
- (19) 急速に増えていった、キリスト教の信者は何とよばれたか。
- (20) 長崎や平戸などに来航したポルトガル人やスペイン人と行った貿易を何というか。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

(5) _____

(6) _____

(7) _____

(8) _____

(9) _____

(10) _____

(11) _____

(12) _____

(13) _____

(14) _____

(15) _____

(16) _____

(17) _____

(18) _____

(19) _____

(20) _____

標準問題

学習日 月 日

1 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) (㉞)～(㉟)にあてはまる人物の名を答えなさい。

㉞〔 〕 ㉟〔 〕
㉟〔 〕

□(2) 下線㉑の時期に、芸術や科学などの分野で活躍し、代表作に「モナ＝リザ」がある人物の名を答えなさい。

〔 〕

□(3) 下線㉒をスイスで行った人物はだれか、答えなさい。

〔 〕

□(4) 下線㉓について、次の問いに答えなさい。

□① 下線㉓はキリスト教の何という教会の系列の組織か、答えなさい。〔 〕

□② ①の教会に反対し、宗教改革を進めた人々を何というか、答えなさい。〔 〕

年代	できごと
1492年	(㉞)がアメリカ大陸付近の島に到達。
1498年	(㉟)がインドに到達。 この前後㉑ルネサンスがさかんになる。
1517年	ルターが㉒宗教改革を始める。
1522年	(㉟)船隊が世界一周を達成。
1534年	㉓イエズス会が設立される。

2 右の略年表を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 下線㉑を日本に伝えたポルトガル人が漂着した島の名を答えなさい。〔 〕

□(2) 下線㉒について、フランシスコ＝ザビエルは、カトリック教会とプロテスタントのどちらの宣教師であったか、答えなさい。〔 〕

□(3) 下線㉓の使節を派遣し、長崎をイエズス会に寄進したキリシタン大名は何氏か、答えなさい。

〔 〕

年代	できごと
1543年	ポルトガル人が漂着し㉑鉄砲を伝える。
1549年	㉒フランシスコ＝ザビエルが来日する。
1582年	㉓天正遣欧少年使節が出発する。

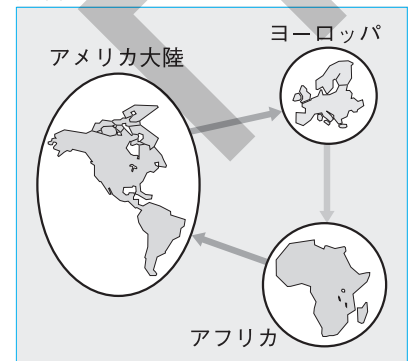
3 記述トレーニング 次の問いに文で答えなさい。

□(1) ローマ教皇が十字軍を派遣した目的を「イスラム勢力」の語句を用いて説明しなさい。

□(2) 14～16世紀ごろ、イタリアからルネサンス(文芸復興)という動きが広がった。これはどのようなものか、説明しなさい。

□(3) 右の資料は、16世紀ごろの大西洋をまたいだ三角貿易の様子を表している。このうち、アフリカからアメリカ大陸に連れてこられた「奴隷」はどのような人々であり、アメリカ大陸でどのようにあつかわれたか、説明しなさい。

資料



□(4) 日本にやってきたポルトガル人やスペイン人との貿易が南蛮貿易とよばれたのはなぜか、説明しなさい。